

界壁防火構造認定の使用許諾に関する覚書

日本製紙木材株式会社（以下「甲」とする）と、株式会社デコス（以下「乙」とする）は、乙が所有する界壁防火構造認定の使用許諾について、以下の通り合意する。

1. 使用を許諾する認定書

認定番号

QF045BP-0030

認定をした構造方法等の名称

セルローズファイバー充填/両面せっこうボード重張/木製軸組造間仕切壁
認定書及び認定をした構造方法等の内容

別紙の通り

2. 本覚書締結後、甲は、上記の認定書を自ら使用することが出来る。また、甲は、甲の顧客に開示、又は使用を許諾することが出来るが、それ以外の者への開示、又は使用を許諾することは出来ないものとする。

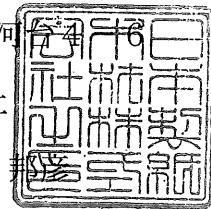
以上を合意したとして、本覚書を2通作成し、甲乙記名押印のうえ、それぞれ各1通ずつ保有する。

2019年5月9日

(甲) 東京都千代田区神田駿河

日本製紙木材 株式会社

代表取締役社長 羽山



(乙) 山口県下関市菊川町田部 1-5-7

株式会社 デコス

代表取締役 安成



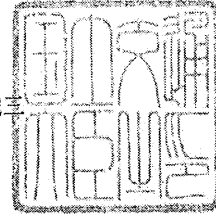


認定書

国住指第 1120 号
平成 19 年 8 月 3 日

株式会社デコス
代表取締役 安成 信次 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第 2 条第七号の二並びに同法施行令第 107 条の 2 第一号及び第二号(間仕切壁(耐力壁):各 45 分間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

QF045BP-0030

2. 認定をした構造方法等の名称

セルローズファイバー充てん/両面せっこうボード重張/木製軸組造間仕切壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
セルローズファイバー充てん/両面せっこうボード重張/木製軸組造間仕切壁

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目	申 請 仕 様
壁高さ	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
壁厚さ	143mm以上
柱間隔	2000mm以下
柱、間柱間隔	500mm以下（間柱は千鳥配置、図1及び図3参照）

3. 申請仕様の主構成材料：
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
柱 (荷重支持部材)	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 寸法：105mm×105mm以上
間柱	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 寸法：38mm×60mm以上
被覆材 (上張・下張)	材料：せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ：9.5mm以上 (重張)
断熱材	材料：セルローズファイバー (JIS A 9523) 厚さ：105±11mm 密度：55±5kg/m ³

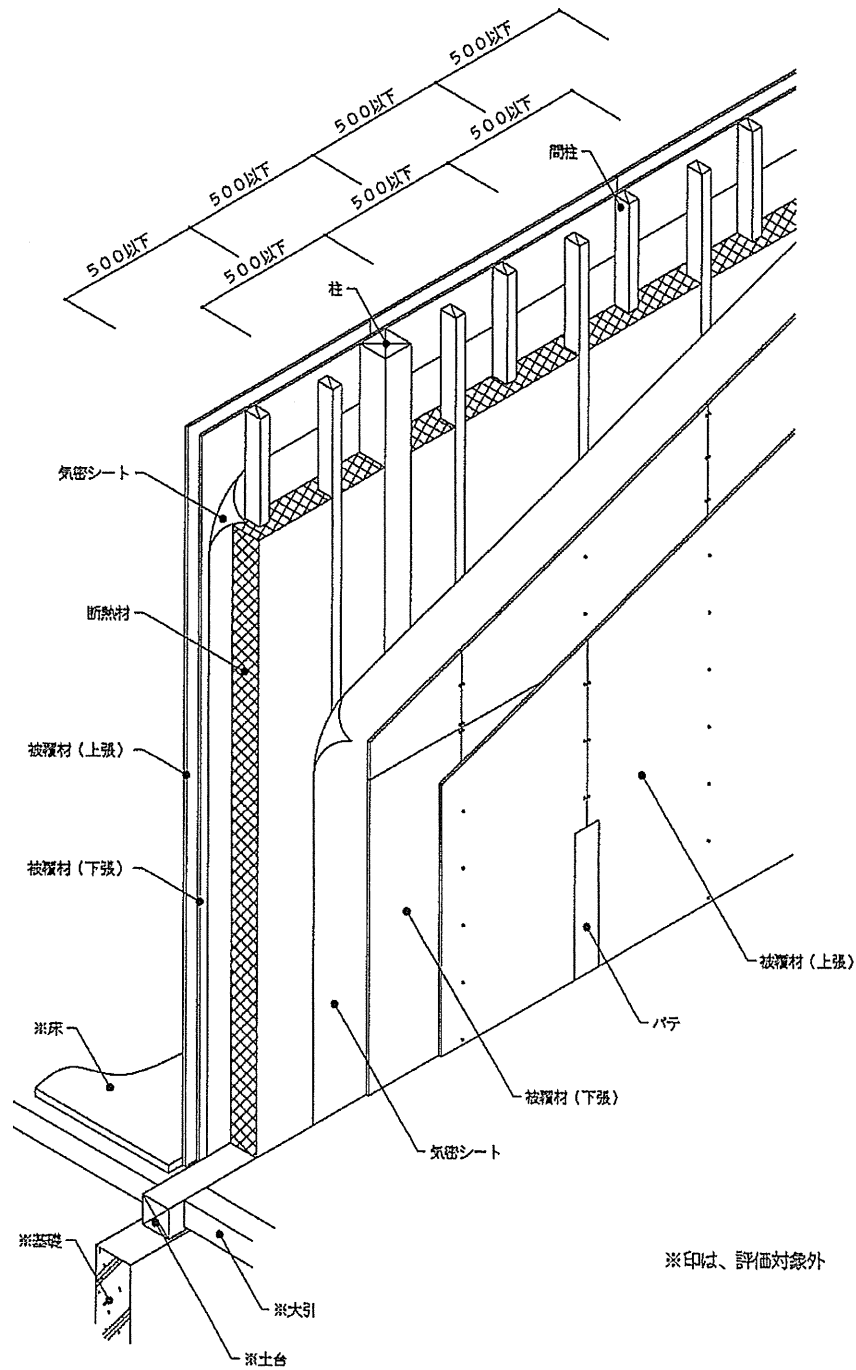
4. 申請仕様の副構成材料：
申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
気密シート	材料：ポリエステル長繊維不織布 厚さ：0.2mm以下
パテ	材料：せっこうボード用目地処理材 (JIS A 6914) 塗布量：100g/m以上
留付材	被覆材 (下張) 固定用： 材料：①～④の— ①せっこうボード用くぎ (JIS A 5508) 寸法：GN40以上 ②ステンレス鋼くぎ (JIS A 5508) 寸法：S45以上 ③十字穴付き木ねじ (JIS B 1112) 寸法：胴径φ3.5mm×長さ32mm以上 ④タッピンねじ (JIS B 1122) 寸法：胴径φ3.0mm×長さ30mm以上 留付間隔：縦目地部150mm以下、一般部 (柱、間柱部) 200mm以下 被覆材 (上張) 固定用： 材料：①～④の— ①せっこうボード用くぎ (JIS A 5508) 寸法：GN50以上 ②ステンレス鋼くぎ (JIS A 5508) 寸法：S50以上 ③十字穴付き木ねじ (JIS B 1112) 寸法：胴径φ3.5mm×長さ40mm以上 ④タッピンねじ (JIS B 1122) 寸法：胴径φ4.0mm×長さ40mm以上 留付間隔：縦目地部200mm以下、一般部 (柱、間柱部) 200mm以下 気密シート固定用： 材料：工業用ステープル (JIS A 5556) 寸法：幅 9.6mm以上、足長 10mm以上 留付間隔：500mm以下

5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1～図2に示す。

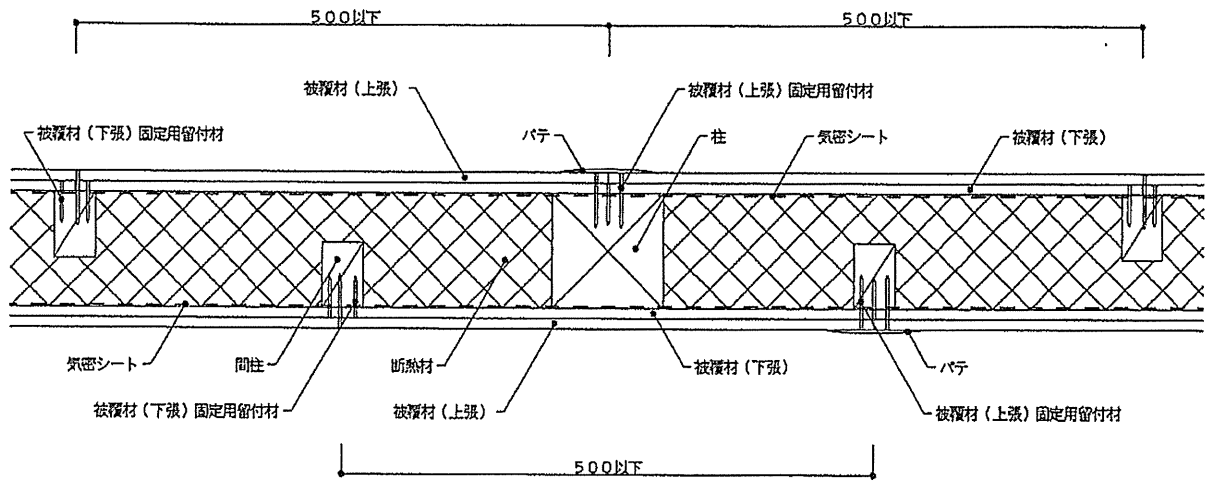
単位mm



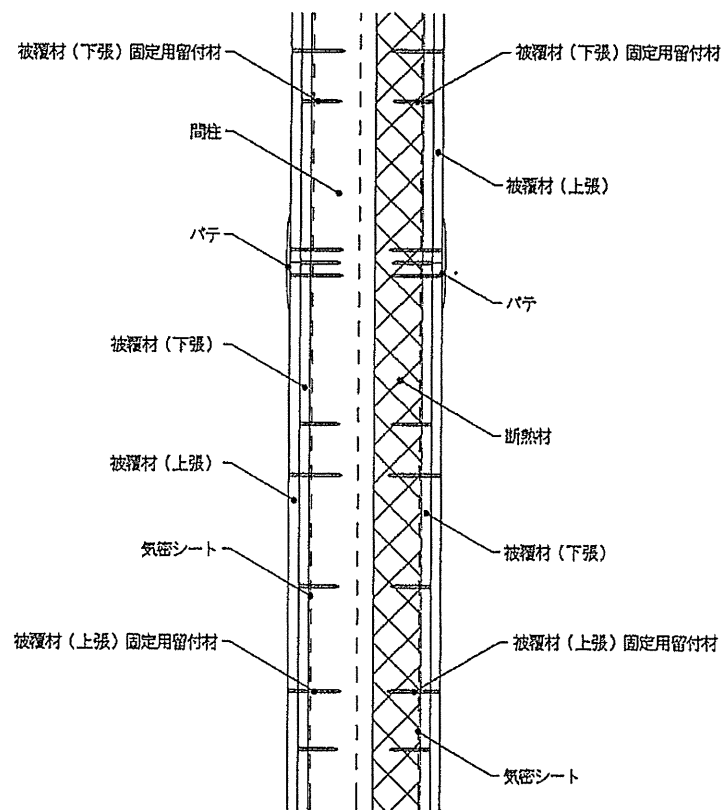
透視図

図1 構造説明図

単位mm



水平断面図



鉛直断面図

図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図3に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 躯体構造の施工状態確認

- ・ 柱、間柱の間隔（500mm以下）を確認する。

(2) 気密シートの張付

- ・ 気密シートの張付け位置は、両面張とし断熱材の充てん厚さ $105 \pm 11\text{mm}$ となる位置に配置し、柱及び間柱に幅9.6mm以上、足長10mm以上の工業用ステーブルで張付ける。。
- ・ 気密シートは横張又は縦張とし、上下・左右の重ね代を100mm以上とする。
- ・ 張付けはできるだけたるみ、しわのないようにする。

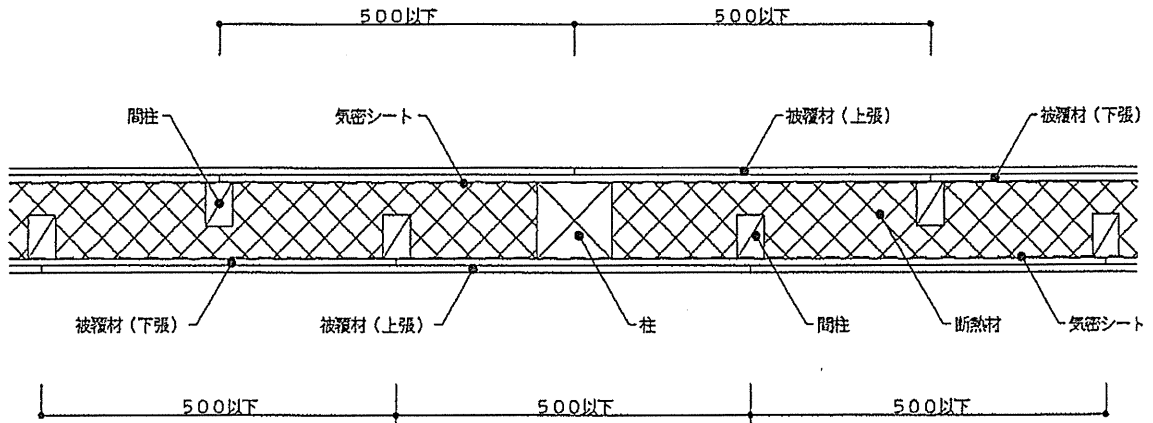
(3) 断熱材の充てん

- ・ 専用の施工機で、柱・間柱内に、充てん厚さ $105 \pm 11\text{mm}$ となるように隙間なく吹き込む。

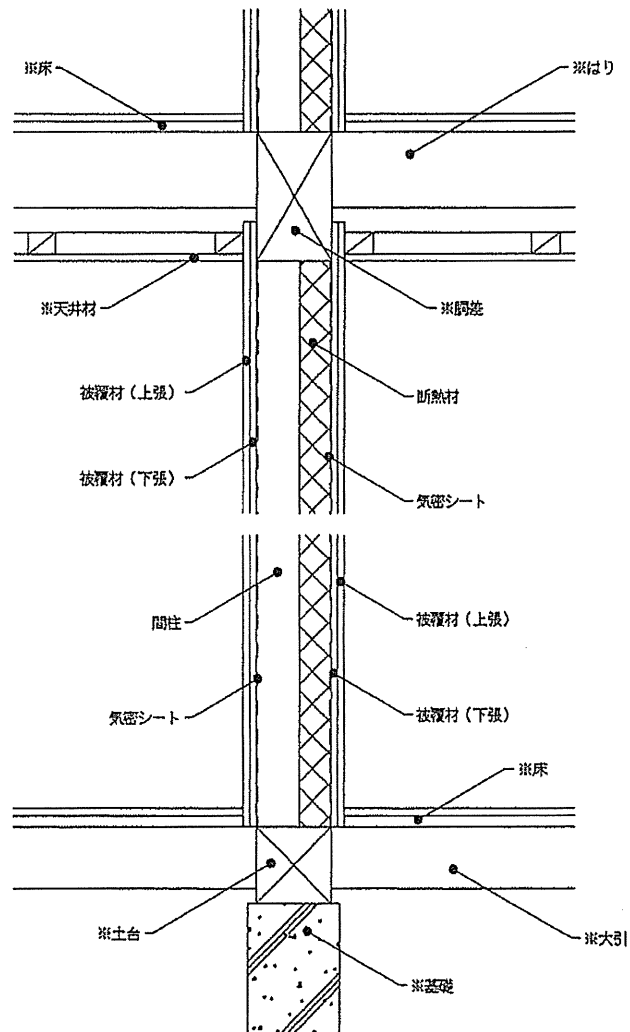
(4) 被覆材の取付

- ・ 被覆材の上張りとは下張りの目地は重ならないように配置する。
- ・ 被覆材は、被覆材固定用留付材を用いて柱、間柱に取付ける。
- ・ 目地部にはパテを施し、平滑に仕上げる。

単位mm



水平断面図



鉛直断面図

図3 施工図